■対策工法（災害復旧内容）の一例（長井市　最上川）



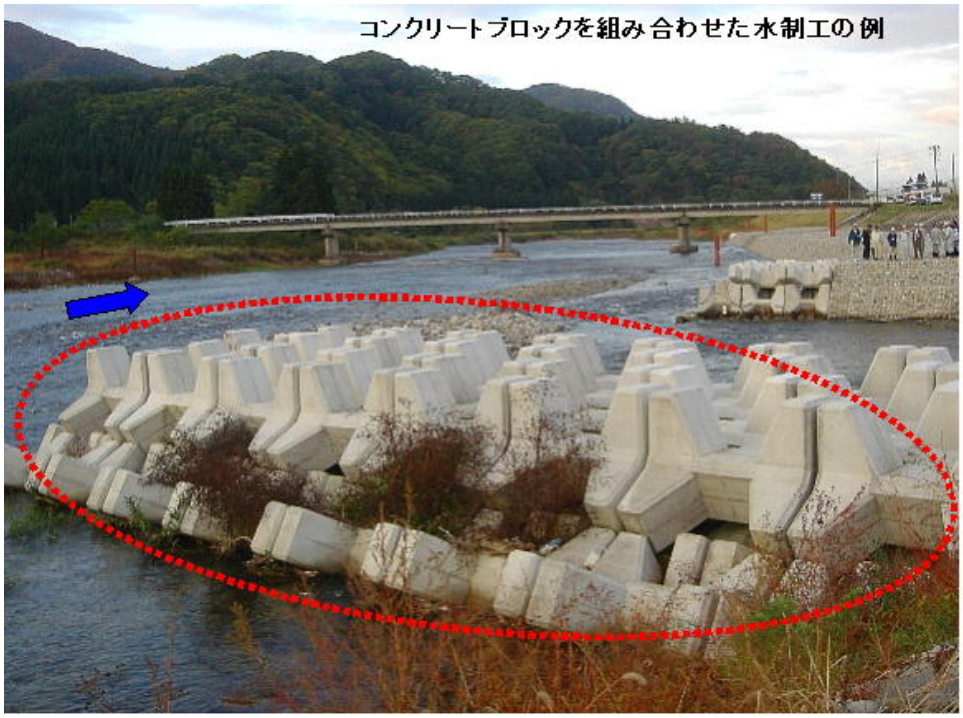


①河道掘削 ： 蛇行の原因となった河道内の土砂を撤去
②盛土工 ： 河道掘削土砂を利用（盛土）し、洗掘を受けた河岸を復旧
③護岸工 ： 復旧した河岸の再度洗掘を防ぐため、護岸工を設置
④水制工 ： 復旧した河岸、護岸工への水当たりや、河道内への再度の土砂堆積の抑制のため、水制工を設置

※上記対策工のうち①④の全てと、②③の一部が直轄河川災害復旧事業で実施する内容です。（他は直轄河川災害復旧事業にて実施します。）

■水制工とは

　流水の作用から堤防を保護するため、流水の方向を規制したり、又は水勢を緩和する必要がある場合に設置する施設です。



■帯工とは

　河床の洗掘を防いで河道の勾配等を安定させ、河川の縦断又は横断形状を維持するために、河川を横断して設けられる施設です。

